M2M 2027 年度募集要項

Mauka to Makai (M2M): Introduction to Oceanography

1. 趣旨

上廣海洋学分野では、海洋学を基盤として、温暖化が進む地球環境の総合的な理解と保全、および実習と国際交流を軸とした教育を通じて、持続可能な社会の実現に向けて世界的に活躍できる人材の育成を目指した研究・教育をおこなっています。その一環として、ハワイ大学マノア校が提供する海洋学関連のフィールド型教育プログラムに学部学生を派遣します。このプログラムにより、ハワイ大学でさまざまなバックグラウンドをもつ教職員・学生たちと交流するとともに、北海道とはまったく異なる、熱帯に位置するハワイの環境と文化に対する理解を深め、海洋環境をめぐる諸問題の解決に貢献するための知識・技術が養われることを期待しています。

本募集は、ハワイ大学マノア校が実施する 2 週間のサマープログラム「Mauka to Makai (M2M): Introduction to Oceanography」への参加を希望する学生を対象としています。

2. 対象者

2027 年度に、北海道大学水産学部に所属する学部学生（交換留学生や研究生は除く）。

3. 実習日程

プログラム：Mauka to Makai (M2M): Introduction to Oceanography
予定期間：2027 年 8 月 9 日～20 日
期間：2 週間
単位：2 単位

4. 実習内容

Mauka to Makai (M2M)とは、マウカ（山）からマカイ（海）への自然や生命のつながりを表すハワイの伝統的な考え方です。このプログラムでは、講義、実験室での実習、フィールドワーク、サービスラーニングを通じて、地域コミュニティとのつながりを重視した学際的な海洋学を学びます。
プログラムでは、以下のような幅広いテーマを扱います。

- 海洋学の基礎
  物理・化学・生物・地質学を含む海洋学の主要分野の概要を学び、これらの要素がどのように相互に関連しているかを探ります。
- 海洋地質学
  海洋と海底を形成する基本的な地質学を学ぶほか、フィールドワークを通じてハワイ独自の地質学的な環境を観察します。
- 海洋化学・生物学および海洋生態学
  ハワイ大学海洋生物学研究所（HIMB）でのスノーケリングによるサンゴ礁調査、プランクトンの採集・観察を通じて、沿岸海洋生態系を形成する主要な化学的・生物学的プロセスを学びます。
- 海洋物理学と気候変動
  海洋と大気の物理的な相互作用を学び、エルニーニョ・ラニーニャなどの自然な気候変動と、人間活動に伴う長期的な気候変化について理解を深めます。

・海洋観測機器およびフィールド観測
海洋観測機器の測定原理や取り扱いを学んだあと、研究船 R/V Kaunānā に乗船し、水温・塩分・溶存酸素等の観測を行います。
・基礎プログラミングおよび海洋データ解析
実際に収集したデータを用いて、基礎的なプログラミングと、海洋・気候データの整理、可視化、解析の方法を学びます。
・ハワイの流域および沿岸資源管理
タロイモ水田での共同作業などを通じて、山から海までを一体として捉えるハワイの伝統的な資源管理の考え方を学び、土地利用や人間活動が沿岸環境に与える影響について理解を深めます。

5. 募集人数

北海道大学から最大 8 名

6. 必須要件

英語で実施される講義、フィールド活動、グループワークおよびディスカッションに積極的に参加し、円滑にコミュニケーションを行うために十分な英語能力を有すること。ハワイ滞在中の案内・連絡はすべて英語で行われます。派遣学生としての責任を自覚し、所定の報告書や Web サイトの記事等を期限内に提出するとともに、実習終了後の報告会等に参加できること。急なスケジュール変更が生じた場合にも、ハワイ大学の指示に従い、柔軟に対応できること。自由時間を含む滞在期間全体が本プログラムの一環であることを理解し、行き先や活動内容について、担当教員等への事前の連絡および必要に応じた相談を行うことができること。
*本プログラムでは、沿岸観測、スノーケリングを伴う活動、海洋観測・採水等を含む屋外・フィールド活動を実施します。申請の際には、これらの活動に身体的に無理なく参加できることをご確認ください。

7. 支給経費

函館からハワイへの渡航費用、現地での宿泊費、海外旅行保険の代金が支給されます。ビザその他の入国手続きが必要な場合は、対象となる手続きに必要な費用も支給されます。

8. 滞在中の生活

実習期間中は、プログラムのために手配されたハワイの宿泊施設に滞在します。

9. 申請手続き

応募期限

2026 年 12 月 16 日(水)

提出書類（日本語、英語どちらでも可）

上廣海洋学分野のホームページ「お知らせ（News)」から必要書類をダウンロードしてください。

1. 申請書（様式指定：[M2M_Application_Form_2027]）
2. 成績証明書

3. TOEFL、TOEIC 等、過去 2 年以内に受験した英語能力試験のスコアを任意でご提出ください。英語能力試験のスコアは、提出された場合に限り、語学能力に関する補足的な情報として参考にします。
4. 在留資格の記載がある書類（在留カード等）のコピー（外国籍を有する方のみ）
5. 指導教員確認書（2027 年度に 4 年次になる学生のみ提出必須）

申請方法

提出書類 1〜4

提出書類を PDF 化のうえ、下記のメールアドレスに送付してください。すべての書類を一つの PDF ファイルにまとめ、ファイル名を「[学籍番号]_Firstname_Lastname_M2M_Application.pdf」としてください。

Email: ulo(at)fish.hokudai.ac.jp

メールの件名：「[学籍番号]_Firstname_Lastname_M2M_Application」

提出書類 5：指導教員確認書

指導教員が確認書を PDF 形式に変換し、下記のファイル名およびメール件名で、以下のメールアドレス宛に直接送付してください。

ファイル名：［学籍番号］_Firstname_Lastname_M2M_Supervisor_confirmation.pdf

送付先：ulo(at)fish.hokudai.ac.jp

メール件名：［学籍番号］_Firstname_Lastname_M2M_Supervisor_confirmation

10. 審査および結果の通知

審査方法

書類審査と面接審査を行います。書類審査後、選考対象者に対して面接を実施します。面接の日時については、申請書記載の本人連絡先にメールにてお知らせします。最終的に採用となった方にのみ、メールにて結果を通知します。

審査基準

* 志望動機が M2M プログラムの趣旨と合致しているか
* 海洋学および海洋科学への関心
* 英語によるコミュニケーション能力
* 講義、フィールドワークおよび国際交流に積極的に参加する意欲
* コミュニケーション能力およびチームワーク能力

11. 参加の辞退

派遣決定通知後の辞退は原則としてできません。他の重要な日程（定期試験・大学院入試・インターンシップ・就職活動等）を事前に確認・調整の上、申し込むようにしてください。また、病気や怪我その他やむを得ない事情により参加できない状況となった場合には、早急に連絡してください。

12. 個人情報の取り扱いについて

応募書類に含まれる個人情報については、厳重に管理し、法令等により提出を求められた場合を除き、下記の目的以外で利用することはありません。

（1） 応募書類に基づく選考および採否通知
（2） 航空券・宿泊先・海外旅行保険等の手配のため、旅行代理店および関係機関への提供
（3） 実習中の安全管理のため担当教職員への提供
（4） 本学、上廣倫理財団、報道関係者による情報発信のための広報媒体への提供。なお、広報利用する際は所属・学年・氏名を使用する場合があります。

13. その他

参加者は原則、M2M プログラムのすべての講義、フィールド活動、実験・実習およびその他のプログラムに参加してください。
実習終了後、報告書を提出してもらいます。また、上廣海洋学分野が実施する報告会等で、実習で得た経験や成果について発表を行ってもらう可能性があります。

14. 問い合わせ先

〒041-8611 北海道函館市港町 3 丁目 1 番 1 号
北海道大学水産学部 上廣海洋学分野
E-Mail：ulo(at)fish.hokudai.ac.jp